

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2014年度 第1回 常任理事予定者会議事録

日 時：2013年 9月 18日(木) 19:31~21:05

場 所：コンセーレ 2階カトレアホール

出席者：

(理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) : 福田(治)
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 金、林
(全 国 大 会 議 長) : 羽石
(会 員 拡 大 会 議 議 長) : 太城
(協 働 連 携 特 別 会 議 議 長) : 篠崎(達)
(法 令 会 計 審 査 会 議 議 長) : 廣田
(事 務 局 長) : 橋本
(第 4 5 代 理 事 長) : 徳原

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <廣田>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <橋本>
4. JCI宣言文朗読並びに綱領唱和 <金>
5. 関東地区宣言唱和 <篠崎>
6. 出席者の確認 <橋本> 全20名 出席理事 18名
7. 議事録作成成人並びに議事録署名人の指名
議事録 <総務委員会>
署名人 村上 正高
黒川 崇
澤畑 敦史
飯野 貴道
8. 議題並びに資料の確認

<橋本> 常任理事のメールに、9月の16日、総務委員会の飯沼委員長より今回のアジェンダが配信になっているかと思えます。こちらのアジェンダを開いてください。ユーザー名がrijiでパスワードがpromiseになります。こちらを入力し、ログインしていただきますと、アクセスできるようになっております。こちらの議事次第にリンクが2つ貼ってあります。左側をクリックしていただきますと、今回の式次第に直接アクセスすることができます。基本的に、常任理事会で使っている部屋は、JCルームから無線がつながります。無線が接続できていない方はい

らっしゃいますでしょうか。ネットにつながる環境ですので、アクセスができると思います。配信資料の中に全てリンクされていますので、本日の会議はそちらを使って進めさせていただきたいと思います。アジェンダをダウンロードしなくても一回で入っていけるようになっております。こちらは総務の飯沼委員長率いる総務委員会にしっかり作っていただきました。はじめてなので何かご不明なことや、やりづらいこと等がありましたら、おっしゃっていただければと思います。以上、議題並びに資料の確認を終わりにしたいと思います。

9. 2014年度理事長挨拶 第48代 理事長 村上 正高 君

まずは、第1回常任理事予定者会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。そして、2013年度ご会期中でございますので、先ほど専務から冒頭にあったようですが、この2013年度会期中にこの会議をさせていただいておりますので、感謝をさせていただきます。進めさせていただきたいと思います。正副理事長会議でも、2013年度の会期中に2014年度の準備をさせていただいているという話をさせていただきました。これには、しっかりした理由がございます。2013年度宇都宮JCは、福田理事長の所信のもとにJC運動を推進されています。このJC運動を実は、2014年度の会議をしている間止めています。この2時間、3時間の間でも止めてしまっています。その自覚を、ここにいる2014年度のメンバーはしっかりもって、年末の予定者の期間を過ごしていただきたいと思えますし、この2013年度の貴重なお時間を1分1秒、無駄にすることなく、しっかり、いただいた時間を大切に2014年度の準備をさせていただきたいと思います。これは常任理事会メンバーとして、理事会構成メンバーとして、来年の委員会、これから配属されていくメンバーと共有をしたいと思えますので、是非、常任理事会、理事構成メンバーの皆さんにおかれましては、しっかり、来年の準備に進んでいただきたいと思えます。そして昨日、理事面談を行わせていただきました、皆さんにおかれましては、定刻どおり来ていただきまして、私も非常に刺激をいただきました。というますのも、皆さん本当に緊張をしておりました。意気込みを1人ずつ、お話をさせていただきましたが、一人ひとりがもうしっかりと、来年のビジョンをもって私に語りかけてくださいました。逆に、大きな刺激をいただいて、本当に身が引き締まる想いをしました。昨日の夜は非常に興奮をして、また、自分のしたためた所信を、もう一度寝る前に読み返して、一人ひとりの理事の顔を思い浮かべながら、そんな気持ちで昨日の夜をすごさせていただきました。所信の方も一昨日、配信をさせていただき、皆さんに読んでいただいております。2014年度の所信を昨日もお伝をさせていただきました。やはり我々は、市民のために存在するということをしかりと皆さんにご認識をさせていただきたいと思っております。我々の目的、そしてその相手、すべての事業において、ここが肝であります。是非、来年を構築する事業、これから事業計画等を作成いただくわけですが、しっかりと我々が、誰に対して、どんなJC運動をしていくのか、目的、そして効果を踏まえた上で、作っていただきたいと思えます。そのことが、来年1年間のJC運動にしっかりと繋がって参りますし、宇都宮JC、これまで続いた46年の歴史、そして来年を踏まえて、未来へと繋がって行って、我々の家庭、会社、そして、子どもたちにも繋がっていくと思えます。力を合わせて行かなければ波及するものもしないと思えます。多くの市民を巻き込んだJC運動を1年間連帯して参りましょう。今日は宜しくお願い致します。

10. 2013年度理事長挨拶 第47代 理事長 福田 治久 君

まずは、2014年度の第1回目の常任理事予定者会議が開催されましたことに際しまして、2013年度理事長として、皆さん、そして、なによりも村上理事長におめでとうござ

いますといわせていただきます。結構色々なところで、皆さんのお話を聞いていると、おそらくJCは、この時期になりますと次年度が決まり予定者が決まり、皆さんが、色々な、また次の役職が決まっていく、そうすると理事長の方が寂しいのではないかというコメントをよく聞かれるのですが、どちらかという寂しいというよりも、自分がここまでやってきた、皆さんに支えられながらやってきた2013年度、それを引き継いでいただけるその2014年度、この村上理事長が率いる2014年度のチームが動き出す姿をみるまで、どちらかという不安です。寂しいよりも、やっぱり期待感とかそういったことがあるので、寂しいがハズレとはいいませんが、僕は本当に今日この日がある意味待ち望んでいたところでもあります。そして、常任理事会構成メンバーになられた皆さんには、ようこそ常任理事会にお越しいただきました。理事会とはまた違い、常任理事会というのは、審議権はありません。ですけれども、理事会に出るまでの議案をここでしっかりと作っていく会議であります。年によっては激しい議論の年もあります。年によっては、ラインでお世話になっていると思いますが、ラインでは少ないのか、どちらも開会にラインの方がひとりもいないということがあります。そういったことがないように皆さんにお願いしたいのと、徳原理事長が、理事長をはじめた時の常任理事予定者会議は、メンバー数はおそらく111名です。そのようなスタートだったと思います。2013年度は今、154名いる中での、20名であります。そして、2014年度は関東地区会長を輩出するLOMでありますし、その関東地区の中でも、日本の中の地区協議会で一番多い地区協議会、そこの東京、横浜につぐ、リーディングLOMであります。リーダーを輩出するLOMの常任理事会構成メンバーであるということをご皆さんには自覚を持っていただきたいと思っております。私は一度だけ、常任理事をやらせていただいたことがあり、どちらかという自分では本当に失敗したと思っているポジションであります。しかしながら、その時の失敗があったからこそ、その様々な気持ちを理解することができた部分もあるし、なんとかここまで続けることができたと思っております。常任理事というのは、ともすれば、本当にサボろうとすればお休みポジションに成りえる、ポジションであります。でも、是非、皆さんにお願いしたいのは、ご自分に打ち勝っていただきたいです。委員会2つ、ライン2つあるところもあります。両方に毎回出るなんて大変だと思っております。それをやられている澤畑監事や、それをしながらブロックの委員長をやられている方々もいますけど、その全てをみながらやるというのは楽なことではありません。でも、それをしっかりと自分に打ち勝ちながらやることによって、それは必ず、皆さんにかえってきますし、そこでできたことがその後、皆さん常任理事構成メンバーになれることは、その後のポジションというのも必ず、今よりもさらにまた、上のポジションというのが必ず周りからのぞまれて参ります。その時に、この時の経験がしっかりと生きてくる、これだけは、僕は本当に強くお伝えしたいですので、是非とも、お願いしたいのは、僕が失敗したからこそ、常任理事の皆さんようには自分に打ち勝ちながら、この常任理事の1年間、今からだと1年半を過ぎていただきたいと思っております。是非とも、監事の皆さんには、もちろん委員長先輩として、常任理事の皆さんのようにお仕事をしいただければと思います。また、今日は1回目ということで、総務、渉外メンバーが数多くオブザーブしていただいていると思っておりますが、はじめて事務方に入られた方もいると思っております。会の設営が仕事でありますけども、この会、常任理事会をみられるということは、皆さんが本当に勉強する機会が沢山与えられているということですので、是非とも会議中は、この人たちが何をいつているのかなど、わからないことも多いと思っておりますが、是非、わからないなりに聞いて、後からわからないことを聞く人たちが沢山います。ですから、どんどん質問していただいて結構ですし、せっかくの機会、この機会を無駄にせず、設営に参加をしていただければと思います。私は、自分が専務理事のときに、事務方のメンバーの皆さんにお願いしたのは、総務、渉外、そして財政、このメンバーというのが理事長の親衛隊ではない、エアフォースワンです。皆さんが、人によっては、理事長親衛隊だという人もいますけど、僕は事務方が、僕は大統領専用機に例えて、エアフォースワンです。この会の設営多分、わけのわからぬまま今やっていると思っておりますけど、飛び立つところですよ。礎を作りながら、飛び立つところで、逆に2013年度は、降下しています。降下しているけど、これをただクロスするのではなくて、もちろん、

今年度事務方のメンバーもいると思いますので、ここでしっかりと本当にしっかりと、交わりながら全てを引き継いで、無事離陸をしていただくようお願いします。是非とも、常任理事会の皆さん、この2014年度の宇都宮JC、市民という言葉が村上理事長のキーワードです。リーダーの中のまたリーダーだという自覚を持たれて2014年のぞんでいただければと思います。本日の第1回目の常任理事予定者会議の開催、誠にありがとうございました。

2012年度理事長挨拶 第46代 理事長 徳原 龍樹 君

去年、確直井歴代も呼ばれて来ました。その経緯で呼ばれたと思います。次回理事会ですが、関東地区役員会が重なっているので申しわけありません。出席できないということです。僕の前の歴代の渡部さんなり、檜山さんなり、篠崎さんなり、色々と思い出した時に、こういう時、基本遠慮するものなの、歴代のところなのかと、ふと思いました。でも、もう1回考え直し、気がつけば、うちの宇都宮JCも拡大の担当者が一生懸命頑張ってくれたお陰で150という大所帯。多分、大きな会社を皆さんやっている人がいるかわかりませんが、こんなにあくが強く、それぞれが、我をもった150人の組織のそのトップをやっている人はいないです。そんな凄い集団の、責任者リーダーになっている人はいません。僕たちに課せられているのは、常にリーダーシップというものを意識して、指導力とか、また、責任感、そういうことだと思います。そんな時に思ったのですが、JCここにいる人たちは大事に思っていなければなりませんし、皆さんにそう感じてもらわなければいけない人間が、少し照れであったり、妙な打ち上がり方で気が抜けないと、それは私たちの現役のメンバーを信じて、何を何のために時間やお金や自分自身の気概を持ってやっているのかということに行き着くのかと思ひ、予定が合えば、来ようと思ひ今日は参りました。皆さん常任理事は150人からのリーダーたちの親分をやっていく皆さんです。皆さんに、これからできることは多分伝えることだと思います。人の心を動かすことしかできない立場になったのですから、是非とも、そのへんを考えた言動をとってもらえたら、村上理事長の来年のビジョンの中にもやはり言動、背中で、自分が人を動かすためには自分自身を律することを凄く意識されている方です。

是非、ここにいる人たちは、自分たちの事業を自分たち、つまりJCの事業と意識と思ひやっていた方がいいと思います。自分のところのラインではないから、知らないというのは止めたほうがいいです。ここは、150人からの強者の組織の中軸ですから、全てが己のことと思ひやってもらうべきだと思います。まったくそうでなければ、いっていることは信憑性がなくなると思ひます。そういった人の心を震わせるようなリーダー像を目指して、頑張ってもらいたい。当然、監事の方も、絶対に手加減せず、厳しく行ってください。皆さん来てくれて楽しかった、盛り上がった的なことは、君たちの役割として求められていません。君たちが自分たちの事業を抱えていない分、君たちは自分たちの刃を磨きながらもそれは、自分たちに突き付けられている諸刃の剣だと思ひてください。自分たちも監事としての毅然とした態度と、毅然とした言動を心がけてもらいたいと思ひます。

僕も卒業して、実は、来年から、また、新入1年生としてまた、0ベースなのですが、多分、福田理事長と一緒に、来年0ベースとして、シニアの方は努力しなければならないと思ひます。是非、もう1回僕たちもJCを1から始めるつもりで頑張っていきます。そんな背中を見せますので、皆さんはさらにもまして、輝いていていただきたいと思ひます。簡単ではございますがご挨拶でございます。

11. 確認事項

確一06 その他

<中島(崇)> 特になし。 確一1番項から5番項を確認事項とします。

確一01 2014年度 理事長所信(案)について

<中島(崇)> 理事長所信を皆さんで読み合せをします。ゆっくりと一字一字丁寧に読んでいただくようお願い致します。パソコンは一度閉じていただき、姿勢を正して読んでいただきますよう宜しくお願い致します。

※文章の読み間違いや、文章を飛ばした場合は中島専務より校正あり。

冒頭	<村上>
【はじめに】	<橋本>
【世界とのつながり】	<金>
【JCは学び舎である】	<篠崎>
【市民が主役のまちへ】	<林>
【市民意識の変革】	<羽石>
【共助の精神】	<金>
【真の「公」をめざすために】	<太城>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】	<廣田>
【未来への希望】	<羽石>
【結びに】	<橋本>

※上記を熟読。

<中島(崇)> 声をだして読んでいくと、まだ問える部分があります。中身を理解するまで何度も繰り返し読み、所信を頭に入れていただければと思います。

<村上> 特になし。

確一02 2014年度 基本計画(案)について

<中島(崇)> 昨日の理事長面談の際に、すでにお配りさせていただいた基本理念。最良の変化をもたらす、市民による、市民のための、JC運動。こちらは、理事長の考えのもと、理事会構成メンバーの公募という形で、作らせていただきたいと思っております。所信を理事会構成メンバーにしっかり読んでもらいたいという意図で、LOMのJC運動の方向性というものを所信にのっかって1から考えていくということを理事会構成メンバー全員で共有したいというところもあり、公募をさせていただきたいと思っております。期限、提出方法等に関しましては理事会の際にもう一度もみ直しさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

<中島(崇)> 基本方針になりますが、こちらに関しては6つの基本方針があります。人的交流グループ、未来創造グループ、全国大会グループ、共同連携グループ、会員拡大グループ、専務グループ、これら6つの基本方針を集めまして宇都宮JC2014年度の基本方針6つの柱ということにさせていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

<村上> 基本方針につきましては、担当の副理事長、専務の皆さんに、まず、考えていただいて作成したものになります。所信にリンクしておりますので、それぞれのグループラインで、しっかりと所信を読んでいただき、委員会の事業構築のゴールに設定していただければと思っております。宜しくお願いします。

確一〇三 二〇一四年度 グループ構成（案）について

<中島(崇)> 昨日の理事長面談の際に、資料をお配りさせていただいておりますが、こちらのアジェンダに掲載しているものとまったく同じものがございますが、文言等の修正がございまして、バージョン2を作成させていただきました。こちらのバージョン2をもとに、昨日お願いをさせていただきました事業計画に、反映をさせていただければと思っております。こちらに関しましては、各グループ、委員会毎の委員会概要、中身が入っておりますので、こちらをご一読いただければと思います。

<村上> 特になし。

確一〇四 二〇一四年度 総会・例会・事業担当（案）について

<中島(崇)> こちらは昨日の理事面談ではまだお配りしていない資料ですが、スケジュールを1月から12月までの例会、そして総会、事業、そしてJ C I、日本J C 事業を実施する事業計画になります。J C I、日本J C に関しましては確定しているもののみ、記載させていただいておりますが、LOMの方の総会・例会、また、事業計画に関しましては、流動的でございますが、まずはたたき台でスケジュールをいれさせていただいております。こちらに関しましてはラインの会場ですとか、講師のご都合ですとか、そういったところで、色々と変わってくる面もあると思いますが、目安として、お考えいただければと思います。また、スケジュールリングに関しまして、ご提案等々ございましたら、ライン副理事長までお伝えいただければと思いますので宜しくお願い致します。

<廣田> 何点かご質問させてください。まず、宇都宮以外での例会が予定されておりますが、このへんの定款への対応はどのようにお考えですか。

<中島(崇)> こちらの件は、私からこたえさせていただきます。
確かに、あの定款の事業の項目に、3番項で栃木県宇都宮市、および周辺において行うものとする記載がございますが、こちらの方は一度、県の支援課にお伺いを立てまして、どのような対策を取っていけばいいか、というところを協議して行きたいと思っておりますので、その際は、飯野監事にもご意見をいただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

<廣田> まだ予算が組みあがっていない段階だと思うのですが、この公益共益の割振りに関しては、再考する予定はございますか。

<中島(崇)> こちらに関しては、再考も含めまして一度予算を組んでからというところになるかと思っております。

<太城> 先程の廣田議長と少しかさなる点がありますが、山形のASPA Cが例会扱いとなっております。こちらは例会ですので出席率は当然カバーできます。その出席の扱いを登録だけで、出席扱いなのか、現地へ行って出席扱いなのか、登録しないけれども現地にいったら出席扱いなのか、そういったもと準を設けていらっしゃるのであればお聞かせ願いたいと思います。

<村上> これから、どういった例会の内容していくのかということに変わって来ると思います。それは山形で国際、たとえば交流事業をやって、それがASPA Cの登録書がないと入れないとも限らないですから、この登録については予算も含めて、少し検討させていただきたいと思っています。

確一〇五 二〇一四年度組織図（案）・対外出向者（案）について

<中島(崇)> 組織図に関しまして、現状リンクをさせていただいている資料の確認をさせていただきます。なお、総務委員会、渉外委員会、そして、法令会計審査会議の方に2名、そして、共同連携特別会議の委員3名に関しましては、委員のところまで入れさせていただいている状況でございます。それ以外につきましては、10月に行われます配属会議、ドラフトで決定をさせていただくという方向性にさせていただきたいと思っています。なお、会員拡大会議に関しましては、今年度の拡大メンバーから一応3名居残りという形で計画をさせていただいております。つきまして、対外出向者（案）についてもご説明させていただきます。現状のお受けいただいているメンバーをこちらに記載をさせていただいております。まず、上から日本JC地区担当常任理事、こちらは関東地区協議会の会長の件ということでございますが、そして、赤松栄紀委員長率います国際グループ相互理解確立委員会のメンバーに金常任にも総括幹事として入っております。また、地域グループ全国大会運営会議副議長ということで、小瀧副理事長のお名前が入っておりますが、こちらに関しましては、まだ不確定ではありますが、明日、日本JCの議長委員スタッフの締め切りがございますので、こちらを記載させていただいております。つづきまして、総務グループ総務委員会こちらに関しましては、梅田賢一君が本日も日本JC会館の方に設営で行っておりますが、すでに、その変革として始動しております、スタートをきっております。全国大会運営委員会のところは副委員長のところを訂正させていただきます。失礼致しました。つづきまして、関東地区協議会こちらの方は、会長に山本和紀君、運営専務に須山副理事長、そして、事務局長に篠崎議長ということで以下事務局次長に飯野監事、そして、黒川監事にも事務局次長としてご出向をいただいております。会長輩出LOMというところでございますので、人数も20名近く輩出させていただいておりますので、資料の程宜しくお願い致します。また、地区大会を実際に担当地区して、運営していきます地区の会員交流委員会、こちらは委員長として、鹿沼JCの今年度理事長でございます小島理事長と聞いております。宇都宮は総括幹事で輩出をする予定となっておりますが、現状ではまだ空白ということにさせていただきたいと思っています。つづきまして、栃木ブロック協議会でございますが、こちらに関しましては、まだ、スタートしておりませんが、まず直前会長ということで山本和紀君また、副会長を宇都宮から輩出させていただきたいということで、オファーを次年度の小栗会長よりいただいております。こちらに関しましては、LOMより会員拡大会議の副議長でございます高松智之君を輩出させていただくということで話を進めております。

<金> 組織図について、2点程確認したい点があります。まず1点は、赤松特別理事の立場、役割、その辺はどうなっているのかということと、あと、2014年度は幹事が、運営幹事と会計幹事で分かれています。これはLOMとしてこの役割を何か明確化するように委員会に指示をした方がいいのか、それとも委員会の中で役割を任せるのか、その辺をどうすれば良いか確認させていただければと思います。

<中島(崇)> こちらの件に関しましては、私の方からこたえさせていただきます。まず、特別理事ということの赤松栄紀君に関しましては、当選理事でございます。そして、日本JCの委員長として快く受託をいただいておりますので、やはりLOMの通常の委員会の理事としてやっていくには、かなりの重荷になりますので、まずは、日本JCに委員長としてでるという箔も含めまして、そしてできるかぎりのLOMでの負担の軽減ということも含めて、特別理事という役をおかせていただいております。ですので、現状ではどこかの委員会会議体に入っての活動というような形ではなく、少し1人になってしまう形ではございますが、日本の公務の方を最大限に優先していただき看板を背負って頑張りたいという佐藤栄一市長のご配慮の元でこのようにさせていただきます。つづきまして、もう1点の方が、運営幹事と会計幹事の違いというところに関しましてですが、150名を超える大所帯という事で、メンバー数もかなり増えて参りました。ですので、理事長の方針と致しまして、やはり幹事の中でも明確に役割をしっかりと分けた上で、この委員会運営というものをしてみてもどうかという案を次年度に関しましては採用させていただきます。こちらに関しましては、今回資料を添付出来ず申しわけありませんが、委員会における、委員長、副委員長、そして、運営幹事、会計幹事、こちらの職能というものを、資料としてお作りし、委員会における役割を明確にして、皆さんにご理解いただきたいと思いますので、そちらは、次回常任までには完成させていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

<村上> 特になし。

12. 報告依頼確認事項

報-01 2014年度 予定者スケジュールについて

<中島(崇)> 2014年度予定者スケジュールについてご説明をさせていただきます。9月でございますが、本日、第1回の常任理事予定者会議18日水曜日でございますが、次回が24日火曜日第1回理事予定者会議でございます。こちらは総合文化センター第1会議室となっております。例年ですと特別会議室でございますが、特別会議室の方がすでにいっぱいとなっておりますので、大変申しわけございませんが、第一会議室でお願い致します。メールで、既に、案内してありますので、ご確認いただきたいと思います。つづきまして10月に移らせていただきます。まず、10月は前半戦3日から全国大会でございますが、昨日もお話し致しましたとおり、4日までに事業計画(案)そして、年間事業計画の提出を総務委員長まで、本日メーリングさせていたしておりますが、10月4日の期日となっておりますのでご協力の程宜しくお願い致します。つづきまして、10月9日でございます。こちらが会員

配属会議、ドラフトでございます。こちらに関しましては、会員配属会議のご案内を只今、作成中でございます。今週中に全て作成をして、発送をかけたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

つづきまして、17日木曜日でございますが、第二回常任理事予定者会議、そして22日火曜日から第一回法令会計審査会議予定者の審査が入っております。25日の金曜日は上程セミナーを行います。専務グループの方にて、マニュアル財政会計関係もマニュアルと議案上程に関するマニュアルの作成も行なっておりますので、こちらをもとに説明させていただきたいと思いません。こちらに関しましては、常任から法令会計審査、そして財政上程セミナー全てコンサーレで開催ということでございます。そして、10月の29日第二回予定者会議が予定されてございます。なお、第一回と第二回の理事予定者会議は、会場が異なりますが、第二回理事予定者会議に関しましては、今年度はアジェンダシステムを運営する関係もございまして、コンサーレの二階バンケットルームにて開催致しますので宜しくお願い致します。

報一〇二 2014年度 年間公式スケジュール（案）について

<中島(崇)> 総会例会の事業担当案のところでもございましたが、現段階で仮に決めているところが例会として、入ってきているところと、理事会、総会、そして法令会計審査というスケジュールをいれさせていただいております。先程の確認事項の際にも申し上げましたが、スケジュール等々で、何かご検討いただいた上で、何かございましたら副理事長の方までお伝えいただければと思いますので宜しくお願い致します。日本J Cのスケジュールに関しましても現状である程度できておりますので、こちらに関しましても資料をいただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

報一〇三 公益社団法人日本J C 2014年度 会頭所信について

<中島(崇)> 宇都宮J Cも日本J Cの構成もLOMでございますので、こちらの方も常任理事会のメンバーの皆さんにおかれましては、ご一読いただきまして日本J Cの方向性LOMの方向性というものをご理解いただけるようお願いを致します。

報一〇四 公益社団法人日本J C 2014年度 基本資料（案）について

<中島(崇)> ご一読ください。

報一〇五 その他

<中島(崇)> 特になし。

13. 監事講評

<澤畑>

皆さんお疲れ様です。まずは、村上上年度第一回常任予定者会議開会おめでとうでございます。そして、総務委員会皆さん、渉外委員会皆さん、設営ありがとうございます。あまりにも

緊張感が高く、牙を研ぐ時間もなかったのですが、本当に中島専務におかれましては、その淡々と今年の太城専務とまた、違った淡々とした感じがあり、色々な淡々があるのだなと考えていたのですけれども、真面目な話をさせていただきますと、この今日やった確認事項、1番から5番、本当にとっても重要なところになります。特に1番、2番におかれましては、村上次年度の所信となっておりますが、これは対外にでるものです。ホームページ等々にでるものです。ということとは、何がいたいかということ、これをもってこの150人すべての方が来年1年間動いているのだと周りはみえていますので、是非ともこれは委員会、ここにいるのは常任の皆さんが、委員長にしっかり伝えて、できれば委員会で、委員長が必ずメンバーにやっている姿を確認してください。皆さんで150人が読み込んで行かないと、前からこの理事長所信にもありますけど、これが教科書と思って、是非とも各委員会でこれを行っていただきたいと思います。議案を書く上でも、これは大切なものになってきますので、皆さんにコピーして渡すのも当然のことなのですけれども、読み合せをしっかりと何度かやっていただければと思います。読んだことないというメンバーがいないように是非ともしていただきたいと思います。今年度理事長もおっしゃっていましたが、私は、まだ今年度常任が終わっていませんが、結構大変です。真面目にやろうとすればするほど、空回りするような役職でありまして、私も、年上の委員長二人と苦戦しておりますが、この所信にあるように役を是非とも演じきっていただきたいと思います。私も少し慣れないこの監事っていうか、はじめてですので、演じてみようと思っておりますので、是非とも1年間宜しくお願い致します。以上です。

<飯野>

皆さんお疲れ様です。第一回目の常任理事予定者会議おめでとうございます。まず、初めに総務委員会の皆さんならびに、渉外委員会の皆さん本当に早い時間から設営をさせていただきましてありがとうございます。まだ、今年度、拡大委員会、まだ例会を抱えていらっしゃる方やメンバーの方も数多くいらっしゃると思いますし、非常に大変な中、設営をさせていただいているかと思えます。この常任理事会もそうですし、理事会もそうですが、本当にスムーズな開催運営ができるのは、渉外委員会の皆さん、総務委員会の皆さんあってこそだと思います。これから来年の12月まで、16ヶ月という長い会になりますけれども、宜しくお願い致します。本日、確認事項ということで、理事長所信から事業計画等々の内容について確認なされたと思いますが、私から少し気になった点だけ述べさせていただきますと、まずは、組織図の中で、特別理事がございますけれども、こちらは定款の中の役員に規定がございますので設けるとすると、その辺りが、定款変更の必要になる可能性がでてくるというのが一点と、運営規定の、何か必ず委員会に所属するという一文も少し引っかかってくると思いますのでそのあたりの位置づけをどうされるのか、そのあたりも少し検討いただければと思います。また、特に今年度がどうこうというわけではないのですが、事業計画が本日ございましたら、日程変更があるケースがありまして、一般のメンバーの方もハンドブックの日程をみて多分、スケジュールを組んだりされたりするかと思います。そうすると、できるかぎりここに載せて日程は変更がない方が望ましいとなると、この予定者の段階で、先々の予定をしっかりと常任理事の皆さんを中心に各理事の方と少しご相談いただけて可能なかぎり変更せずに済むようなご準備をいただければと思います。これは私の個人的な考えですが、この常任理事会で、先程、福田理事長がおっしゃたように理事会に出す議案を作る場です。そうするとやはり理事会の場というのは、私はもう理事会に出された議案というのは本当に確認をするだけで、確認して、後は審議をとるだけという、それだけの場だと思いますので、本当にまずは、この常任理事会の場でしっかりと議案を今後精査していただいて、本当に理事会の場では何の意見も出ることなく、スムーズに審議が行われるのが理想だと思いますし、それだけの議案を作りあげることができるメンバーが揃っているのがこの常任理事会だと思いますので、是非是非、今後活発なご意見を出していただいて、

素晴らしい議案をつくり、それによってしっかりと村上理事長を支えていただければと思います。以上簡単ではございますが、監事講評とさせていただきます。

14. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第1回 常任理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
飯 野 貴 道
澤 畑 敦 史